

帝塚山大学子育て支援センター紀要の発刊にあたって

ここに、「帝塚山大学子育て支援センター紀要」を発刊する運びとなりました。子育てに関わる研究成果を公表する紀要を発刊できることは、当センターにかかわる者にとって大きな喜びです。

本学では、平成 21（2009）年度、現代生活学部こども学科開設と同時に子育て支援センターを開設し、学部付置のセンターとして運営してきました。そして、開設 2 年目の平成 22（2010）年度以降、以下の 3 つの事業を実施してきました。

- 「つどいの広場」（0 歳から就学前の乳幼児とその保護者等を対象にした、地域住民の子育て支援・地域連携活動）
- 「親子教室」（3 歳以上就学前までの子どもとその保護者等を対象にした、地域住民の子育て支援・地域連携活動）
- 「こども学講座」（保育者等を対象とした公開講座）

また、学生の教育として、こども学科 1 年生の授業「基礎演習Ⅱ」において、リフレクション実習として位置付けた「つどいの広場参加授業」も実施してきました。

さらに、平成 27（2015）年度から帝塚山大学現代生活学部子育て支援センター紀要を発刊してきました。この 4 年間の紀要には、当センター及び現代生活学部の教員と関係者による延べ 53 件の論文が掲載されています。その内容は、上記の本センター事業に関わるものはもとより、執筆者の研究・実践をもとにした幅広い分野の研究成果となっています。

そして、現代生活学部こども学科は、これからの教育の様々な課題に対応するため、今年度、教育学部こども教育学科に改組されました。これを受けて、当センターは、次年度以降、大学付置の「帝塚山大学子育て支援センター」として運営していくことになっており、本紀要の発刊はこれを受けたものです。

今後は、子育て支援について、全学から幅広い知見を得て、これまで以上に充実したセンター運営を行っていく所存です。そして、その成果を公表する本紀要の充実も図って参ります。そのためにも、本紀要にかかわる方々の研究が、今後ますます発展することを願い、発刊の言葉と致します。

帝塚山大学 教育学部長

子育て支援センター長

勝美 芳雄